

I いのちの教育の基礎となる家庭教育と幼児期の教育を支援する

1 家庭教育支援の充実

「家庭は教育の原点であり、すべての教育の出発点である」ということを基本に据えながら、家庭教育にかかる今日的な課題の解決を図るとともに、子どもたちが基本的な生活習慣・生活能力、思いやりや善悪の判断などを身につける上で重要な役割を担う家庭の教育力の充実を図るため、以下の施策を実施した。

(1) 家庭教育推進事業

① 家庭教育推進協議会の設置

ア 山形県家庭教育推進協議会（6月、2月の2回）

10名の委員を委嘱し、家庭教育の向上や地域における家庭教育支援を推進する事業等の方策について検討した。

イ 県家庭教育アドバイザーの委嘱

25名の県家庭教育アドバイザーを委嘱し、教育事務所毎に実施する講座等の講師として活動していただいた。

② 家庭教育電話相談「ふれあいほっとライン」の開設

家庭教育や子育てに不安や悩みを持つ親等からの相談に応じるため、電話等による相談を実施した。相談件数：236件（1月現在）

③ やまがた子育て講座（国補助事業）

家庭教育に関する学習機会等の充実を図るために市町村と連携し、主に小学生を持つ親に対する家庭教育に係る学習機会を提供した。

（25市町村175箇所で開催予定）

④ 家庭教育出前講座（国補助事業）

多忙のため家庭教育の学習機会に参加できない親等に対応するため、事業所に出向いて家庭教育や子育てに対する理解と認識を深めるための講座及び情報提供を行った。

（県内20箇所で開催予定）

⑤ 家庭教育支援フォーラム（国補助事業）

家庭教育支援者の研修及び情報交換等を行い、身近な地域における家庭教育支援体制の充実を図った。

（県内2箇所で開催） 総参加者数 125名

(2) 子育て経験者活用事業（ふるさと雇用再生特別基金事業）

子育て経験者による育児中の親等へのアドバイスや子育てに関する情報提供等の支援を行い、家庭教育支援の充実を図った。

(3) 家庭教育支援者活用事業（重点分野雇用創出事業）

地域におけるきめ細やかな家庭教育支援を行うために、家庭教育支援者による支援チームを組織し、不安や悩みを抱える家庭や学校等での相談、情報提供等を行った。

2 幼児共育の推進

人格形成の基礎を培う上で極めて重要な時期である幼児期の子どもを「家庭」「幼稚園・保育所等」「地域」が連携して育む『幼児共育』を提唱し、行動指針となる「山形県幼児共育アクションプログラム」に基づき、実践的な活動を推進するために、以下の施策を実施した。

(1) 幼児共育推進事業

- ① 山形県幼児共育推進本部会議の開催（6月、2月の2回）
14名の委員を委嘱し、三者の連携による幼児共育の実践を推進する事業等の方策について検討した。
- ② 幼児共育ふれあい活動の開催（委託事業）
幼児期における親子のふれあいを重視した活動として、人やモノ、自然とのかかわりを通したさまざまな体験的な活動を内容とする講座を県内5ヶ所で開催した。
 - ・生涯学習施設「里仁館」（酒田市）：2コースを設定し年間各11回の講座開催
 - ・上山市子ども教室運営協議会（上山市）：年間5回の講座を開催
 - ・NPO法人尾花沢総合スポーツクラブ（村山市）：年間5回 //
 - ・真室川町幼児共育協議会（真室川町）：年間7回 //
 - ・おはなしキャラバンりぼん（高島町）：年間5回 //
- ③ ふれあい活動プログラム開発
「幼稚園・保育所等」で、家庭（親子）や地域とのかかわりと自然とのかかわりを重視した『幼児共育』を実践するためのプログラム開発を県内4地区で行った。
- ④ 幼児共育合同セミナーの開催
幼児共育に関わる幼稚園教諭、保育士、NPO等を対象として、幼児共育に関する事業の成果を普及・啓発すると共に、幼児共育の実践拡大のためのセミナーを開催した。
 - ・11/12 上山市体育文化センターで開催 ・参加人数 30名
 - ・11/24 庄内町文化創造館で開催 ・参加人数 63名
- ⑤ 幼児共育の普及・啓発
 - ア 幼児共育リーフレットの配布
県内幼稚園・保育所の新入園児をもつ保護者へ配布した。
 - ・約600箇所 約20,000部配付
 - イ 幼児共育ポスターの配付
県内幼稚園・保育所等に配付した。
 - ・約600箇所

II かかわりの中で子ども・大人の社会力を高める

1 青少年の体験活動の充実と地域とのかかわりの創出

(1) 放課後子どもプラン推進事業

放課後や学校外における子どもたちの安全で健やかな居場所づくりと、地域の教育力の再生を図る趣旨で、文部科学省「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省「放課後児童健全育成事業」を連携し「放課後子どもプラン」として推進を図った。

- ① 県推進委員会の設置（5月19日、2月22日開催予定の年2回実施）
 ○13名の委員を委嘱し、県子育て推進部子育て支援課との連携を図りながら、県の推進方策や県事業の実実施計画及びその評価、次年度事業の方向性等について協議。

② コーディネーター研修会の実施

ア 第1回研修会（6月29日、於：三川町公民館）参加者：54名

○講演 「スタッフと地域の特徴を生かした放課後の活動プログラム」

東北芸術工科大学 芸術学部総合美術コース 教授 松田 道雄 氏

○事例研究及びワークショップ形式による演習

- ・ 事例提供者 三川町押切地区放課後子ども教室より2名
- ・ 事例提供者 金山町金山地区放課後子ども教室より2名
- ・ ファシリテーター 東北芸術工科大学 芸術学部 教授 松田 道雄 氏

イ 第2回研修会（9月30日、於：遊学館）参加者：47名

○パネルディスカッション 「コーディネーターが抱えている現実的な課題に迫る」

パネリスト コーディネーター4名

（川西町高橋氏、大江町松田氏、新庄市佐藤氏、鶴岡市大滝氏）

コーディネーター

山形大学地域教育文化学部 地域教育学科 准教授 安藤 耕己 氏

○グループ研修（ワークショップ）「今後の子どもプラン推進のために」

○講義 「来年度のプランを立てるときの視点」～まとめに代えて～

山形大学地域教育文化学部 地域教育学科 准教授 安藤 耕己 氏

③ 指導者研修会の実施

		村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区
第1回	期日	6月10日（金）	7月7日（木）	6月17日（金）	7月5日（火）
	参加者	243名	40名	170名	130名
	場所	山形市 江南公民館	鮭川村 「米湿原」	米沢市 すこやかセンター	三川町公民館
	内容	・ 事業説明 県行政2人 ・ 講演 「特別な支援を必要としている子」 FR教育臨床研究所 花輪敏男氏	・ 体験型研修 「植物観察、体験プログラム」 講師 矢口末吉氏	・ 事例発表 赤湯第一学童 鎌田則子氏 関子ども教室 岡崎利勝氏 ・ 講演 「子どもかがやく放課後活動」 立教大学 浅井春夫氏	・ 講演 「子どもを笑顔にしやる気を引き出すかわり方」 質問家 松田充弘氏
第2回	期日	9月14日（水）	7月26日（火）	10月18日（火） 10月25日（火） 11月8日（火）	10月6日（木） 11月9日（水）
	参加者	115名	36名	80名 60名 50名	98名 40名
	場所	寒河江市 中央公民館	鮭川村 エコパーク	米沢すこやかセンター （米沢市）	三川町公民館 鶴岡市中央公民館

				置賜生涯学習プラザ (長井市) 沖郷公民館 (南陽市)	
	内容	・分科会 1「子どもの安全対策・危機管理」 ゆりのき第二学童 鈴木美加氏 2「子どもたちのより安全・安心な居場所を」 長栄アトム児童クラブ 山本博美氏	・体験型研修 「昆虫観察、体験プログラム」 講師 渡貫修太郎氏	・講演、質疑応答 「学校・保護者との連携を大切に した発達障がいを抱えた子への 関わり方」 山形大学 三浦光哉氏	・事例発表 ふれあいホーム松田 みかわ学童保育所 湯田川放課後子ども教室 吹浦放課後子ども教室 ・情報交換会
第3回	期日	2月1日 (水)	1月27日 (金)	12月1日 (木)	1月26日 (木)
	参加者	154名	64名	71名	144名
	場所	山形市 ビッグウィング	新庄市 最上総合支庁	南陽市 沖郷公民館	三川町公民館
	内容	・分科会 NPO山形親子療育支援 ネットワーク 木村伸子氏 大江町 松田礼子氏 アドバイザー 安藤耕己氏	・情報交換会 子ども教室部会アドバイザー 半田豊氏 児童クラブ部会アドバイザー 井上貴恵子氏 ・講演 「体験活動が人生を決める」千葉大学 明石要一氏	・講義、演習 「地域・放課後活動の新しいプログラムを考えよう」 松田道雄氏	・講演 「気になる子への対応の仕方」 余目第三小学校 早川隆氏

④ 市町村補助事業の実施

ア 運営委員会及びコーディネーターの設置

イ「放課後子ども教室」の実施＝ 32市町村 123箇所

ウ「放課後児童クラブ」の実施＝ 32市町村 248箇所

(2) たがしや楽校普及事業 (公募型雇用創出事業)

子どもや大人の社会力を高めるために、市町村公民館等に出向いて、子どもたちが集い楽しみながら学ぶ場である「たがしや楽校」の普及啓発を図った。また、「たがしや楽校」の実践団体・実践者を養成するとともに、県内外の関係団体、研究者・実践者のネットワークを構築した。

※実施主体 NPO法人 公益のふるさと創り鶴岡

(3) 学校支援地域本部事業

地域住民の積極的な学校支援ボランティア活動を通じて学校と地域の連携体制の構

築を図り、学校の教育活動を充実させるとともに、教員が子どもと向き合う時間の拡充を図るために、本部の設置を推進した。

① 運営協議会の開催（6/15、2/10の年2回の実施）

○11名の委員を委嘱し、県内小中学校の学校支援ボランティアの活動状況を把握し、今後の事業の進め方等を協議した。

② 地域コーディネーター研修会の開催

		村山地区	最上地区	置賜地区	庄内地区
4 地 区 開 催	期日	8月4日（木）	6月30日（木）	7月2日（土）	9月27日（火）
	参加者	36名	78名	44名	55名
	場所	村山総合支庁西庁舎	最上総合支庁	長井市 置賜生涯学習プラザ	余目第三公民館
	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事例発表 秋田県教育庁 佐々木達也氏 高畠町立和田小学校 岩瀬晃敏氏 ・情報交換 教員部会 コーディネーター部会 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報交換会 舟形中学校学習支援員 押切聖子氏 ・グループ演習 ・講演 「学校教育と社会教育の 連携を考える視点」 青山学院大学 鈴木眞理氏 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例紹介 ・講演 「子どもの育ちと地 域の力」 茨城大学 長谷川幸介氏 	<ul style="list-style-type: none"> ・事例発表 東根中部小 竹村健一氏 ・講演 「学校と地域でつく る子どもの未来」 日本大学 佐藤晴雄氏

③ 市町村補助事業の実施

○19市町村43本部の実施

山辺町、寒河江市、河北町、西川町、大江町、東根市、金山町、最上町、舟形町、真室川町、大蔵村、戸沢村、南陽市、高畠町、川西町、長井市、小国町、白鷹町、庄内町

(4) 山形ふるさと塾推進事業

ふるさと山形のよき生活文化や知恵、伝統芸能などを教え合い、学び合う活動である「山形ふるさと塾」が地域を中心に県内各地で行われることを通じて、郷土愛の醸成、地域コミュニティの活性化、地域資源の確実な保存と伝承を図ることによる、子どもの社会力育成を目指して、以下の施策を実施した。

①山形ふるさと塾推進協議会の設置・開催

ア 県…1月10日（火）実施

イ 地域推進協議会（4地域推進協議会）

村山	最上	置賜	庄内
7月12日（火）	7月14日（木）	5月31日（火）	5月26日（木）

②語り部研修会の実施（4地域推進協議会）

村山	最上	置賜		庄内
12月10日（土）	11月10日（木）	6月26日（日）	12月3日（土）	12月4日（日）
92名	186名	約150名	43名	38名

③顕彰事業「山形ふるさと塾活動賞」選考委員会の開催（9月21日（水）実施）

受賞団体4団体 すべて文化分野

小田島田植踊子供伝承会（東根市）

御免町囃子座保存会（大江町）

安楽城の童唄保存会（真室川町）

萩野子獅子保存会（白鷹町）

（10/16 開催の山形ふるさと塾フェスティバルの開会行事で表彰）

④山形ふるさと塾フェスティバルの開催（委託事業）

ア 日時 10月16日（日）10:30～15:30

イ 場所 高畠町文化ホール「まほら」

ウ 委託先 山形ふるさと塾フェスティバル実行委員会

エ 内容 第Ⅰ部10:30～12:00

4団体による実演体験交流・遊び体験、発表団体のパネル展示

第Ⅱ部12:30～15:10 7団体のステージ発表

「山形ふるさと塾フェスティバルテーマソング」の披露、「山形ふるさと塾こども宣言」 約600名参加

⑤市町村総合交付金による市町村への活動支援

基本枠…対象35市町村中、32市町村で実施（山形市、天童市及び大石田町を除く）

追加枠…合併市で実施（鶴岡市、酒田市）

⑥記録保存システム（山形ふるさと塾アーカイブス）の運用

ふるさと塾活動映像138コンテンツ・視聴覚教材49コンテンツを公開中。「山形ふるさと塾フェスティバル2011」の内容を掲載予定。

⑦事業の目標 山形ふるさと塾賛同団体数

3月末日現在 270団体

（5）元気な森の学校推進事業（やまがた緑環境税活用事業）

すべての県民、特に次世代を担う子どもたちに、身近な森林等の自然環境の重要性を認識させ、保全していく心を醸成する趣旨で事業を実施した。

① 家族ふれあい体験教室の開催（主管：4少年自然の家）

◇身近な森林にふれあい、親子のつながりを高める事業の実施

ア 朝日「ブナの森探検隊」（6/4～5、参加者：23名）

朝日「ブナ雪原探検隊」（3/10～11、参加者： 名）

イ 金峰「はるかぜトレッキング」（4/16、参加者：15名）

ウ 飯豊「親子ふれあい森林体験」（9/11・震災のため未実施）

エ 神室「親子ふれあい体験教室」

（①9/25・参加者：78名、②2/25～26・参加者： 名）

② 地域連携教室の開催（主管：金峰、飯豊、神室）

◇主に子どもを対象とし、それぞれの地域と連携した事業の実施

ア 金峰「元気な森の学校」（6/30・参加者：22名）

イ 飯豊「森と遊ぼうクラフト体験」（11/3・震災のため未実施）

ウ 神室「神室フェスティバル」（11/6・参加者：182名）

③ 森林環境セミナーの開催（主管：朝日、金峰）

◇主に指導者や一般成人を対象とした、森林に関するセミナー

ア 朝日「幼児の自然体験フォーラム」(9/24・参加者:28名)

イ 金峰「森林環境セミナーあきかぜトレッキング」(10/10・参加者:26名)

(6) 地域青少年ボランティア活動推進事業

「山形方式」と呼ばれる地域青少年ボランティア活動の推進のため、中央センター及び4地区センターを設置し、情報の収集・提供やネットワークの構築を行うとともに、支援体制の整備および研修・交流機会の拡充を図り、以下の事業を実施した。

① 中央センター事業(県青年の家)

ア 山形県地域青少年ボランティア推進会議の設置

県内地域青少年ボランティア活動等の活動推進のための方策を検討し、各センターの事業計画の検討及び実施後の検証・評価等を行った。

イ YYボランティアビューローの設置

県内の青少年ボランティア活動に関する各種情報を収集し、インターネット等を通じて広く提供するとともに、活動実践者やサークルへの支援を行った。

また、ボランティアに興味を持つ青少年を対象に「季節ごとの体験ボランティア」の実施し、身近な地域青少年ボランティア活動の体験ができる機会を提供した。

(a) 期間 夏:7月~9月、冬:12月~1月

(b) 場所 県内全域

(c) 内容 各ボランティアサークル・団体・施設等が企画する活動への参加

(d) 対象 県内全ての小中高生及び一般の方

(e) 実績 参加者数1,020名【2/2現在】

ウ YYボランティア・フェスティバル

県内各地域青少年ボランティアが一堂に会し、日常の実践活動を発表し、学習と交流を深めるとともに、合同でのボランティア実践活動を一般公開。

(a) 期日 平成23年10月15日(土)~16日(日)

(b) 場所 県青年の家

(c) 参加者 129名(小・中学生54名、高校生43名、青年8名、指導者等24名)

(d) 内容 [1日目]活動発表、アイスブレイク、体験実習、交流会

[2日目]一般公開(来場者313名)、ふりかえり

② 地区センター事業(4教育事務所)

ア 地区地域青少年ボランティア推進会議の設置

各地域の実践、活動、事業に関する情報を交換しながら、管内の地域青少年ボランティア活動の推進に向けた諸施策等について協議した。また、活動アドバイザーを配置し、地区内のサークルやボランティア実践者への支援を行った。

イ YYボランティアセミナー

各地区中高生を対象に、2泊3日程度の日程で、主体的に計画立案し、人とのかわりの中でボランティア活動を実践する講習会を実施した。

地区	村 山	最 上	置 賜	庄 内	
期日	6/18(土)~20(月)	7/28(木)~29(金)	6/26(日) 8/4(木)~5(金)	8/6(土)~7(日)	8/10(水)~12(金)
参加者	51名(高校生)	54名(中学生)	24名(高校生)	19名(中・高生)	48名(中・高生)
場所	県青年の家	県青年の家	神室少年自然の家	飯豊少年自然の家	金峰少年自然の家
内容	アイスブレイキング、 講義、実技講座、 企画演習、施設訪問・ 交流実習	アイスブレイキング、 講義、企画演習、 施設訪問・交流実習	アイスブレイキング、 実技講座、企画演習、 施設訪問・交流実習	アイスブレイキング、 講話、実技講座、 青年交流会への参加	アイスブレイキング、 講話、実技講座、 企画演習、施設訪問・ 交流実習

2 青年の交流推進

(1) 山形青年交流事業

地域をリードする青年の育成に向け、県内青年のネットワーク形成や社会力の向上を図るため、青年サークルの代表等14名を委員で青年会議を設置し、全県的な交流会を開催した。

①山形青年会議

ア 第1回会議 5月15日(日) 全県的な交流についての基本構想、テーマの設定

イ 第2回会議 2月5日(日) 事業後の検証

②青年交流会(地区大会)

地区	村山	最上	置賜	庄内
期日	8/20(土)～8/21(日)	10/22(土)～10/23(日)	①8/7(日) ②10/8(土)	10/1(土)～10/2(日)
参加者	26名	24名	①27名 ②50名	47名
会場	山の内自然体験交流施設 「やまぼと」 (旧村山市立山の内小学校)	山屋セミナーハウス (旧新庄市立山屋小学校)	①川西町農村環境改善センター ②米沢女子短期大学	海浜自然の家 (金峰少年自然の家分館)
内容	・選択講座 カクテル作り アクセサリー作り ダンス ・夕食会 ・ゲーム ・花火 ・ワークショップ 「地域貢献活動」	・スポーツ大会 囲碁ボール ソフトバレーボール ・夕食づくり ・夕食会 夢を実現した地域の青年を紹介 ・ワークショップ 「地域づくり」	中高生、学生を対象に ・サークル紹介 ・「だがしや楽校」実演	・サークル紹介 ・夕食会 ・早朝ディスクゴルフ ・討論会 (芋煮を作りながら) ・昼食会 ・討論発表会

③青年交流会(県大会)

(a)期日 12月10日(土)～11日(日)

(b)場所 霞城セントラルアトリウム(一般公開)、山形県青年の家

(c)参加者 86名

(d)内容【1日目】一般公開、夕食会、情報交換

【2日目】各支部活動発表、集中討論

(2) 若者自立支援事業

生活体験や自然体験をとおして、ひきこもり青年に、同じ世代の若者との交流機会を提供するとともに、居場所に通いながら社会参加が進んだ青年等が企画・運営に関わる実行委員会を編成し、1泊2日の「プロジェクトYY交流会」を2回実施した。

○第1回交流会

・期日：平成23年8月17日(水)～18日(木)

・場所：県青年の家

- ・内 容：野外炊飯、ティーパーティー、クラフト作製 等
- ・参加者：団体指導者等含む41名の参加

○第2回交流会

- ・期 日：平成22年8月18日(水)～19日(木)
- ・場 所：金峰少年自然の家 海浜自然の家
- ・内 容：ウォークラリー、スポーツや創作活動、ティーパーティー 等
- ・参加者：団体指導者等含む27名の参加

- (3) 若者自立支援に係る相談員・カウンセラー派遣事業(ふるさと雇用再生特別基金事業) 不登校・ひきこもりを支援するNPO法人が新たに相談員(カウンセラーを含む) 1名を雇用し、居場所における若者同士の活動のコーディネートや家庭訪問による相談・カウンセリング等を実施。県内4法人に委託。

Ⅲ かかわりの機会を充実するための環境をつくる

1 社会教育推進体制の充実

(1) 社会教育主事養成事業

東北大学社会教育主事講習(6月20日～21日県内研修会、8月1日～8月23日東北大学での研修)を21名(内県費派遣13名)が受講した。

(2) 社会教育研修事業

市町村教育委員会等の社会教育関係職員等を対象として、指導力の向上を図るため領域的・体系的な研修を実施した。

①社会教育関係職員講座

○初任者講座1 6月2日～6月4日 遊学館 85名参加
初任者講座2 9月12日～9月13日 庄内総合支庁 44名参加

○中堅講座 8月30日 遊学館 40名参加

②図書館講座 7月8日 遊学館 31名参加(内学校関係者7名)

④PTA指導者研修会

各单位PTAのリーダー的な立場の会員を対象に、PTA活動の活性化を図るための事例研究や、スキルアップを図るためのワークショップを実施した。

○7月3日(土) 遊学館 136名参加

(3) 視聴覚教材普及事業

①自作視聴覚教材コンクール

視聴覚教材の自作化を奨励し、視聴覚教育活動の振興を図るため、山形県視聴覚ライブラリー協議会及び(財)山形県生涯学習文化財団と共催で自作視聴覚教材コンクール及び視聴覚教材制作技術講習会を実施した。学校教育部門、児童生徒作品部門、社会教育部門の3部門で審査を行った。

自作視聴覚教材コンクールにおいて、地区の審査を経て中央審査会に出品されたのは、学校教育部門8本(DVDビデオ3本、紙しばい2本、パソコン作品3本)、児童生徒作品部門7本(DVDビデオ3本、パソコン作品2本、紙しばい2本)、社会教育部門15本(DVDビデオ3本、TP1本、紙しばい11本)、合わせて30本。

このうち、DVDビデオ1本、パソコン作品1本、紙しばい4本が最優秀に選ばれた。
さらに、優秀賞には11本が選ばれた。

・県自作視聴覚コンクール中央審査会（発表会）平成23年1月15日 遊学館

②視聴覚教材制作技術講習会

ビデオ部門、紙しばい部門に分かれて講習を行い、作品にこめた思いを効果的に伝えるための構成や撮影技術・カット割り・ナレーション・語りの手法等について技術の向上を図った。

7月28日（水）、8月4日（水）、10日（火）、18日（水）、25日（水） 計5回

※ビデオ部門は2回×2会場（新庄：8/10 8/18 山形：8/18 8/25）

参加人数 紙しばい17名 ビデオ14名 計31名

（4）社会教育関係団体の支援

①社会教育関係団体指導・支援

社会教育関係団体の健全な運営と活動の活性化を図るため、次の団体が実施する事業について助成した。

- 山形県婦人連盟（婦人団体事業費補助金）
- 山形県PTA連合会（PTA連合会事業費補助金）
- 山形県高等学校PTA連合会（PTA連合会事業費補助金）
- 山形県特別支援学校PTA連合会（PTA連合会事業費補助金）
- ボーイスカウト山形県連盟（ボーイスカウト事業費補助金）
- 山形県社会教育連絡協議会（山形県社会教育連絡協議会事業費補助金）

②優良PTA表彰事業

ア 優良PTA県教育委員会表彰選考委員会（5月20日）

県教育委員会表彰団体として、小学校6校、中学校2校、小・中学校1校、高等学校2校、特別支援学校1校を選考した。

イ 優良PTA文部科学大臣表彰推薦

県教育委員会表彰団体のうち、小学校2校、高等学校1校を推薦した。

③PTA研修資料作成

PTA活動の活性化を図るための資料とするために、県内の優良PTA団体の実践を紹介した「これからのPTANo.41」を作成し、各単位PTA、市町村教育委員会等に配布する。

2 社会教育施設の整備・充実

（1）県立図書館の整備・充実

県立公立図書館との連携強化、調査相談（レファレンス）の充実等に努めるほか、絵本原画展や子どもを対象とした手づくり絵本コンクールを行い、県民の読書活動の推進と利用拡大に努めた。

（2）青少年教育施設の整備・充実

地デジ化・野外施設の改修工事等を行い、利用者が安全で快適に利用できるように

施設の整備・充実に努めた。

(3) 生涯学習施設の整備・充実

生涯学習振興の中核施設である山形県生涯学習センターの効果的かつ効率的な管理運営と、機能維持及び安全確保のため、設備等の更新及び修繕を行なった。

(4) 県生涯学習推進事業

庄内地域における生涯学習の推進に大きな役割を担っている生涯学習施設「里仁館」に対して事業費補助を行った。

(5) 山形県生涯学習センター事業

① 県生涯学習センターの管理運営

本県における生涯学習振興の中核施設である山形県生涯学習センターについて、指定管理者（財団法人山形県生涯学習文化財団）による施設の適切かつ効率的な維持管理運営により、利用者へのサービス向上を図った。

② 県生涯学習センターの施設整備

生涯学習センターの機能維持と安全確保のため、設備の修繕を行った。

③ 総合的な学習情報の提供

県民の主体的な学習活動を支援するため、様々な方法により広域的かつ総合的な学習情報を提供する。

ア 学習情報収集・提供事業（アクセス件数：40,487件、学習相談：40件（平成24年1月末現在）

遊学館&文翔館ホームページを運営し、生涯学習に関する情報を提供した。また、県民の学習活動を支援するため学習相談等を実施した。

イ ICT学習素材収集整備事業

県内各地で開催される様々な学習機会や生涯学習・文化活動等に関する幅広い情報収集・整理し、遊学館&文翔館ホームページにより提供した。

ウ 学習情報紙発行等事業（5月・7月・10月 各18,000部発行）

県、市町村、高等教育機関、民間団体等が実施する講座等の情報をまとめたやまがたマナビカレッジ情報紙を発行した。

④ 主体的な生涯学習活動への支援・連携

地域におけるNPO等の主体的な学習活動を推進するため、関係機関と連携して講座開設や人材育成等を実施する。

ア 子どもを育む生涯学習活動推進事業（7月～12月）

子どもの読書活動推進のための読み聞かせ実践者への研修会（1回）並びに絵本作家講演会（1回）や子どもの情操教育のため、人形劇等子どもたちが夢のある時間を過ごせるイベント：子ども遊学館（2回）等を開催し、生涯学習の見地から子どもの健全育成を図った。

イ 生涯学習コーディネーター育成事業（6月・10月）

市町村及びNPOの生涯学習関係者等を対象として社会教育関係職員パワーアップセミナーや一般県民を対象とした生涯学習スキルアップセミナーを開催し、関係者の資質向上と地域における生涯学習の振興を図った。

ウ 山形ふるさと塾推進事業

山形ふるさと塾に関する映像等を記録し、インターネットを通じて公開していくことにより、山形ふるさと塾活動の支援基盤の構築を図った。

エ 「山形学」地域連携講座支援事業（助成：20団体）

山形学を推進するとともに、県民の学習機会を広げ、地域に根ざした生涯学習を振興するため、市町村や高等教育機関等が開催する地域学に関する体系的な講座を支援した。

オ 生涯学習活動支援事業（助成：28団体）

県民の映像学習教材製作や高齢者の観光ガイド、高校及び大学等の学習活動並びに市町村における生涯学習活動など、主体的な生涯学習に取り組む活動を支援した。

⑤県民主体の学習機会の提供

県民の幅広い学習ニーズに応えるため、山形学講座等の学習機会を提供する。

ア 「地域学」推進事業（6月～9月、11月）

山形の特徴や特性を多面的に捉え、山形に生きることの意義、自らのアイデンティティや地域づくりを考えるため、山形学フォーラム、山形学講座（5回）を開催した。

また、県内外で地域学を実践している民間団体、高等教育機関、行政等が集い地域等に関する情報を交換するための地域学交流集会を開催した。

イ 高齢者大学校開催事業（6月～12月）

高齢者の社会参画についての意識の高揚を図るため、仙人講座（7回）を開講するとともに、社会参画を促進するための「おもちゃドクター養成講座」を開催した。

ウ 遊学21世紀講演会開催事業（10月、3月）

変貌する現代社会に内在する課題を掘り下げ、最新の情報と分析視点を県民に提供し、将来展望や今後の指標などを探っていくための講演会を開催した。

【諸会議】

(1) 社会教育施設連絡会議

- ① 県社会教育施設長会議（年間3回開催） 4月7日～8日、10月19日、2月15日
- ② 青少年教育施設研修担当者会議（年間3回開催） 4月18日、10月25日、2月21日

(2) 教育事務所等連絡会議

- ① 教育事務所社会教育課長会議（年間3回開催） 4月7日～8日、9月9日、2月3日
- ② 教育事務所社会教育主事会議（年間4回開催） 4月18日、7月22日、9月22日、2月17日

※県社会教育委員の会議（委員数15名）

- 第164回定例委員会 5月26日 県庁1001会議室
- 第165回定例委員会 2月16日 県庁901会議室

社会教育行政の基本方針と施策の概要及びその総括について話し合った。

5月の定例の会議では、平成23年度の県の生涯学習・社会教育関係事業についての説明と質疑応答を行った。

2月の定例会議では、今年度事業についての成果と課題および平成24年度の生涯学習・社会教育関係事業の概要について説明し、質疑応答を行った。また、23年度から24年度にかけて2カ年で策定予定の山形県生涯学習振興計画（仮定）中間報告（案）について説明し、質疑応答を行う。

文部科学大臣表彰 (平成23年度)

○優良公民館

上山市本庄地区公民館 (上山市)
白鷹町十王地区公民館 (白鷹町)

○優良PTA表彰

寒河江市立三泉小学校父母と教師の会 (寒河江市)
最上町赤倉小学校父母と教師の会 (最上町)
酒田市立酒田中央高等学校PTA (酒田市)

○社会教育功労者表彰

舛田 忠雄 (山形市) 社会教育計画
鈴木 優子 (山形市) 公民館活動

○視聴覚教育功労者表彰

片桐 健二 (米沢市)

○子ども読書活動優秀実践図書館・団体

長井市立図書館 (長井市)
サークル夢空間 (米沢市)

生涯学習・社会教育振興計画策定 (平成23～24年度年度)

○第1回振興計画策定作業部会 7月29日(金) 13:30～16:00(安藤、小田島、野口、岡崎、4主任等10名)

- ・本県の生涯学習・社会教育についての実態や課題について議論
- ・進行計画策定の基本方針について議論

○第2回振興計画策定作業部会 10月19日(水) 13:30～16:00(安藤、小田島、野口、岡崎、4主任等10名)

- ・振興計画の内容の全体の組み立てについて議論
- ・「策定の基本的な考え方」について議論
- ・「県・市町村の実態や課題」について議論
- ・「推進の方向性」について議論

○第1回振興計画策定委員会 11月18日(金) 14:30～15:30(関係各課長等20名)

- ・振興計画策定の概要について
- ・策定作業部会経過報告

○第3回振興計画策定作業部会 1月12日(木) 10:00~12:00(安藤、小田島、野口、岡崎、4主任等10名)

- ・「県・市町村の実態や課題」調査方法について議論
- ・振興計画中間報告案について議論

○第1回山形県生涯学習振興会議 2月16日(木)13:00~15:20
(山形県社会教育委員の会議と兼ねる)